



# Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

## 大阪府

### N・Hさん（母）

この度、基金完了にあたりお手紙とお祝い金をいただきありがとうございます。

長男は昨年の春から県外の大学に進学し、寮生活を送っております。新生活を楽しんでいるらしく、連休は友達を引き連れて我が家に帰ってきました。

夫の事故から何年も経ち、やっと夫のいない生活に慣れてきたころに決まった長男の進学でしたので、次男との二人暮らしは寂しくなるかと思いきや、実家を離れ元気に暮らしている長男の様子を見てとても安心した気持ちです。

育成基金には経済的な面で大きな助けをいただき、本当に感謝しております。私一人の収入では大学に進学させてやることは難しかったと思いますが、定期的に送られる給付金のおかげで子ども達の希望を叶えてあげられました。

次男はまだ高校生なのでまだ少しの間お世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

## 兵庫県

### S・Jさん（母）

主人が突然亡くなった時小学5年生だった息子がこの春高校生になります。あの頃の幼さもなくなり、すっかり大人の顔になってきております。主人のお友達からは、主人の学生時代にそっくりだといわれるほど、主人の面影を受け継いでくれています。心もとても優しく育ってくれています。

中学3年間は硬式テニス部で良い成績を残し頑張っておりました。高校でも続けて頑張ってくれると思います。上の娘は大学生になってアルバイトをして私のことも支えてくれています。基金には娘と息子のために色々ご支援していただき、ありがとうございます。

## 佐賀県

### Y・Yさん（加入者）

これまで育成基金を給付していただき、ありがとうございました。このおかげで何不自由なく楽しい学生生活を送らせていただくことができました。これからは、親元を離れ一人暮らしを始めますが、感謝の心を忘れず頑張っていきたいと思えます。最後に、図書カードをありがとうございました。大切にさせていただきます。

## 岐阜県

### H・Mさん（母）

この度、育成給付金の給付が完了のお知らせをいただきました。まずは、長期に渡り私達家族を支えてくださり本当にありがとうございました。

娘が1歳の時に主人を突然失い、右も左も直進すらもわからなくなり途方に暮れてただただ毎日を子供のために生かされたあの当時の記憶は消えることはありません。しかし、こうして娘も19歳の誕生日を無事に迎えることができましたのも皆様の支えがあり感謝という言葉では表しきれないほどの思いでいっぱいです。

必死で駆け抜けた18年間は長いようであっという間でした。人並みの生活、人並みの教育を受けさせることもできています。

娘は今、看護学部2年生になりました。今まで支えられて生きてこられた感謝の気持ちを忘れず今度は自身が人のために行動できる立派な看護師を目指し、残りの学生生活にも励んでほしいと思います。

私も今後の人生を有意義に暮らせるようまだまだ努力し頑張っていきたいと思っています。そしてこうして皆様の支えがあり今がある事を今後も忘れることなく、人の役に立てるような残りの人生にしたいと思っています。

本当に今まで長い間お世話になり感謝いたしますとともに、基金さまのこれからの益々の発展を心よりお祈りいたします。

## 京都府 N・Aさん（母）

この度は娘の中学卒業に際し、「橋本給付金」をいただき誠にありがとうございました。

夫が他界した時、娘は保育園児でしたが、10年間大きな病気もすることなく1歳上の兄と、元気に育ってくれました。4月からは美術科の高校に入学が決まりました。娘は絵を描くのが好きで「こう見えるミュージアム」にも何度も投稿しています。いただいた図書カードで早速コミックや本を買って喜んでいます。

これから充実した高校生活になるよう、私と同様、天国の夫も全力で応援してくれると思います。

## 千葉県 S・Mさん（母） S・Tさん（加入者）

### ♡ お母さまより

いつもご支援ありがとうございました。おかげ様で学費の心配をすることなく中学・高校生活を送らせることができました。大学生活も楽しんでいるようです。妹、弟もおりますのでまだ数年はお世話になります。これからもよろしく願いいたします。

### ♡ 加入者さまより

今までのご支援、ありがとうございます。

親から学費の話は一切されずに育ったため、自由に進路を選べることの素晴らしさを身をもって体験できたのは、この基金のおかげです。結果として、私立高校に入り高校2年から塾通いと、母子家庭であることを忘れるくらい充実した環境に身を置くことができ、無事東京大学に現役合格することができました。

今は亡き父もきっと喜んでくれることと思います。この基金のおかげで勝ち取った環境で、これからも学びを楽しみたいです。妹、弟のことをこれからもよろしく願いいたします。お世話になりました。

## 神奈川県 S・Yさん（母）

娘の中学入学のお祝い金と図書カードをいただきありがとうございました。

主人の事故から4年経ち、やっと娘との2人暮らしに慣れてきました。当時は悲しい、つらいとずっと思いながら暮らしていくような気がしていましたが、日々成長する娘の笑顔や周りの人の優しさのおかげで、ちゃんと幸せを感じながら日々を送っております。

娘も小学校時代は学校に行きたがらない時期があったり、近頃は反抗期なのでしょうか、私への口答えなどが多くなってきましたが、これも大人になる通過点なのだと思います。見守っていこうと思います。

これからもよろしく願いいたします。

## 愛知県 S・Yさん（母）

橋本給付金と図書カードを送って下さり、ありがとうございました。中学受験をした息子は4月から1時間半電車に乗って中学へ通います。進学先の中学は知らない土地、知らない子ばかりの学校です。私も息子も新生活に対して期待以上の不安があります。そんな状況でも、日本中に私達家族のような交通遺児家庭を支えてくださる方々がたくさんいることは、本当に心強いです。給付金も図書カードも、勉強のために大切に使用させていただきます。どうもありがとうございました。

## 熊本県 N・Kさん（母）

ふと手に取った本がきっかけで交通遺児等育成基金に加入することになり、あっという間に14年も経ってしまいました。長い間本当にありがとうございました。お便りなどを拝見し、私たちの様に悲しい思いをしている人がたくさんいて、それぞれ乗り越えて毎日を送っているのだと励みにもなりました。

おかげ様で息子も19歳になり明るく逞しく育ってくれました。いつも主人が見守ってくれていると信じ、これからも頑張っていこうと思います。ありがとうございました。

## 新潟県 M・Uさん（母）

長い間本当にお世話になりました。当時10ヶ月の娘は現在19歳になり大学2年生。育成基金のおかげで教育費は何も不安なく過ごすことができました。私自身も事故当時、介護の仕事が忙しく、泣くばかりではなく娘を立派に育てていくと決心しました。

この基金に入って良かったと思っております。基金やその他の方々の励ましがあってこそこの19年間だったと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

## 滋賀県 K・Yさん（母）

いつもお世話になっております。この度は長男の進学に際し、橋本給付金と図書カードをいただきありがとうございました。

早いもので主人が亡くなって今年6月で丸12年、13回忌を迎えます。当時3歳5ヶ月だった長男は15歳になり、2月にあった私立高校受験に無事合格し、3月にある本命の県立高校に向けて猛勉強しております。喜びの春が来ることを願うばかりです。

父親不在という悲しみにもめげずに、日々成長を続ける息子を主人に自慢したいです。最後になりましたが、いつも私達を支えてくださっている多くの方々への感謝を忘れず親子共々これからも頑張っていこうと思います。本当にありがとうございました。

## 宮城県 I・Wさん（加入者）

長い間お世話になりました。おかげ様で現在は、志望していた大学で勉強することができています。大学では地理を専門に学んでいますが、ほかの分野の勉強やアルバイト、サークルからも様々な事を学ぶことができ、毎日がとても充実しています。

将来は自分が誰かの役に立てるよう、今後も引き続き一所懸命学習していきたいです。本当にありがとうございました。

## 京都府 O・Kさん（母）

この度は橋本むつ様からの入学お祝い金をいただきまして、誠にありがとうございました。多くの方々に支えられ、当時3歳だった息子は今春中学校へ入学します。

小学3年生から始めた野球を中学校でも続けると決め、野球部への入部を楽しみにしております。また、英語等の新しい教科にも興味を持ち、英単語を覚えたりして春休みを満喫しています。

成長するごとに笑顔やふっとした表情は主人そっくりになってきました。10年という「時薬」は少しずつ私達家族をなぐさめ癒してくれました。支えてくださる皆様に感謝し、これからも主人と共に子供たちの成長をかみしめていきたいです。いつもありがとうございました。

## 兵庫県 A・Hさん（母）

橋本給付金、ありがとうございました。高校入学の準備に大切にに使わせていただきました。三男が中学校入学後、間もなく主人が事故で亡くなり今春で3年になります。

お父さんを亡くしてとても辛かったこと、私に対してきつく当たったこと、ここまでやってこれたのは母のおかげです…と、卒業式で受け取った手紙には素直な気持ちが書かれてあり、嬉しくて涙が出ました。この手紙は私の宝物にします。

主人を亡くしたことでたくさんの方との出会いがありました。そしてたくさんの方に支えていただいて、私達家族は元気に過ごすことができます。その気持ちをこれからも忘れずに、明るく前向きに過ごしたいと思います。ありがとうございました。

